

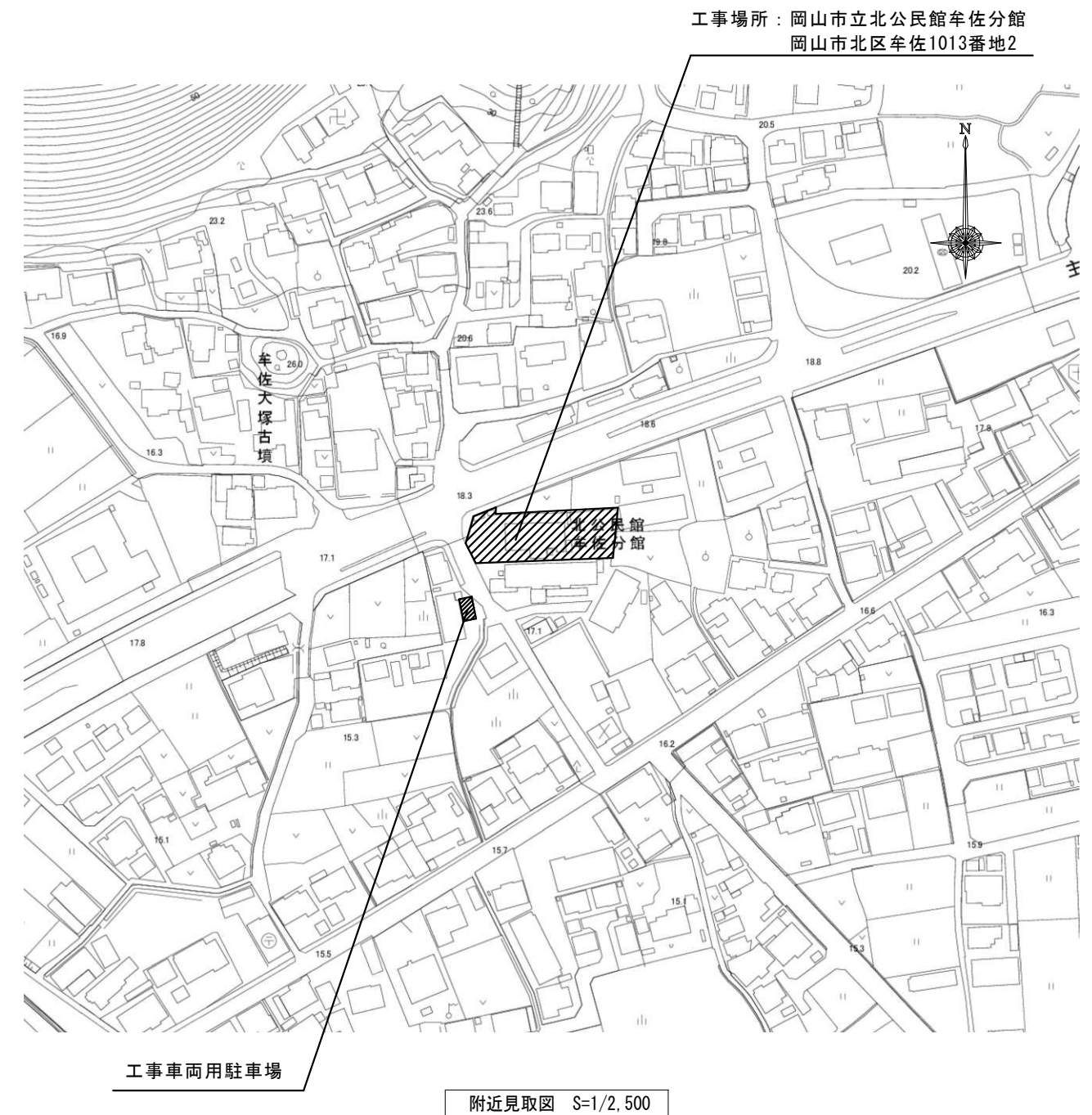
令和 8 年度
岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事

【改修内容】

- ・集会室の床改修

【 図面リスト 】

図 面 番 号	図 面 名	縮 尺
A－００	表紙・図面リスト・附近見取図	1/2500
A－０１	建築改修工事特記仕様書１	—
A－０２	建築改修工事特記仕様書２	—
A－０３	建築改修工事特記仕様書３	—
A－０４	建築改修工事特記仕様書４	—
A－０５	建築改修工事特記仕様書５	—
A－０６	建築改修工事特記仕様書６	—
A－０７	配置図兼仮設計画図（参考）	1/200
A－０８	改修前平面図	1/100
A－０９	改修後平面図	1/100
A－１０	改修前床伏図	1/100
A－１１	改修後床伏図	1/100
A－１２	改修断面詳細図	1/20

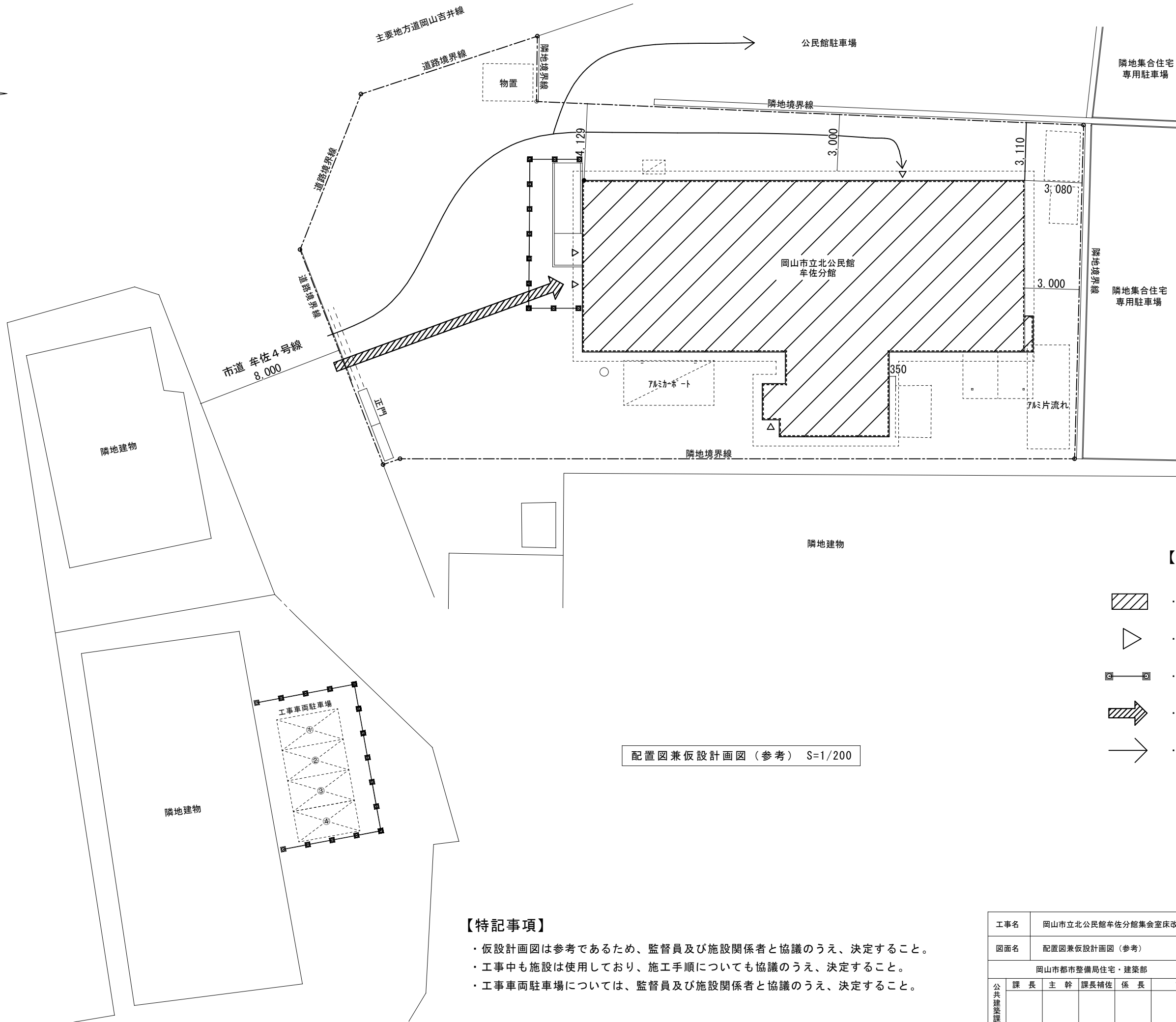


工事名	岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事					No.	A-00
図面名	表紙・図面リスト・附近見取図			縮尺	1/2,500		
岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月		
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当	






[illegible]

5	機械式継手 [8. 4. 2]	使用箇所 ※構造図による 性能（H 1 2 建告第1 4 6 3 号に適合するもの） ・ A 級 ・ 種類 ・ねじ筋鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・ ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目及び合否判定 ※改修標準仕様書 表8. 4. 1～表8. 4. 3 による ・評定等の評価内容による 不合格となった場合の措置 ※改修標準仕様書 表8. 4. 2 (5) (ア) (a)～(c)による ・構造図による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1 組の作業班が1 日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 試験の箇所数 1 ロットに対して（ ）箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 不合格となった継手部への措置 ・	4 セメント [8. 2. 5]	表8. 2. 3 セメントの種類 使用箇所 ・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 (G)、 シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (G) ・高炉セメントB種 (G) ・フライアッシュセメントB種 (G) 普通ポルトランドセメントの品質は、J I S R 5 2 1 0 に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く	5 骨材 [8. 2. 5]	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt≦3. 0kg/m ³ 以下）	6 混和材料 [8. 2. 5]	・混和剤 種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5 (4) (ア)による ・ ・混和材 種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5 (4) (イ)による ・	7 構造体用モルタル [8. 2. 6]	圧縮強度（ ） フロー値（ ）	8 無筋コンクリート (6. 14. 1～3) [8. 11. 1～3]	適用箇所 ・標準仕様書6. 14. 1 (4)による ・図示 設計基準強度 F c (N/mm ²) ※1 8 スラブ ※1 5又は1 8 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント	9 ひび割れ誘発目地 打継目地 (6. 6. 4) (6. 8. 1)	目地寸法 ※標準仕様書9. 7. 3による ・ 間隔 ※図示による ・高炉セメントB種 (G) 位置 ※図示による ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する	10 コンクリートの仕上り [8. 1. 4] [8. 2. 7]	合板せき板を用いるコンクリートの打設し仕上げ 表8. 1. 4 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 コンクリートの仕上りの平たんさ 表8. 1. 5 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種	11 打増し厚さ (6. 8. 1) [8. 7. 8]	・打増し仕上げる打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ・20mm ・打増し仕上げる打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・10mm ・20mm ・ ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・2mm ・ ・床板枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm ・	12 型枠 (6. 8. 2) [8. 2. 7]	せき板の材料及び厚さ ※合板（※1 2mm） ・メッシュ型枠（使用部位 ※構造図による ・） ・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲 ※構造図による ・） スリーブ材 ※標準仕様書6. 8. 2 (9) (イ)による ・構造図による 断熱材兼用型枠 ・使用しない ・使用する（※25mm以下かつ熱抵抗値1m ² ・K/kal以上） MCR工法用シート仕様 ・使用しない ・使用する（使用部位 ※図示による）	13 型枠の加工及び部位 [8. 7. 6]	シアコネクタをセパレーターとして使用 適用箇所 ※構造図による	14 コンクリートの 打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5]	部位毎のコンクリート打設工法の指定 補強工法 現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法（・全て ・） ・圧入工法（・全て ・） 柱補強工事の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・流込み工法（・全て ・） ・圧入工法（・全て ・）	8 ― 3 鉄骨工 事	1 鉄骨の製作工場 [8. 1. 5] (7. 1. 1) (7. 1. 3)	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第7 7 条の5 6 に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株） 日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国建築工業協会）の「鉄骨製作工場 の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上 の能力のある工場とするものとする。 （ ・J グレード ・R グレード ・M グレード ・H グレード ・S グレード ）	2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 [8. 1. 6]	・配置する ・配置しない	3 鋼材 [8. 2. 8]	種類等 表8. 2. 7 種類の記号 適用箇所 規格等 ※J I S規格による ※J I S規格による ※J I S規格による	4 高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 14. 2]	区分 ※トルシア形高力ボルト 2種（S 1 0 T） ・J I S形高力ボルト 2種（F 1 0 T） 高力ボルトの径 ※図示による すべり試験 ※行わない ・行う（・すべり係数試験 ・すべり耐力試験） 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2 (1) (イ)による摩擦面の確認 は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	5 溶融亜鉛めっき高力 ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 20. 5] (7. 12. 5)	セツトの種類 ※1 種（F 8 T相当） 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・大臣認定を受けた内容による 摩擦面の処理 ※プラスト処理（表面粗度5 0 μm R z 以上） ・プラスト以外の特別な処理（りん酸塩処理） すべり試験 ※行わない ・行う（・すべり係数試験 ・すべり耐力試験） 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2 (1) (ア)又は(イ)による摩擦面 の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片で行うこと。	6 普通ボルト (7. 2. 3)	7 アンカーボルト (7. 2. 4) (7. 3. 2) (7. 10. 3)	ボルト及びナットの材料等 ※標準仕様書 表7. 2. 3による 座金 ※標準仕様書 表7. 2. 3 (4)による 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1. 0mm ・図示 適用 ・構造用アンカーボルト セツトの種類 ・ABR400 ・ABR490 形状、寸法 ※構造図による ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7. 2. 3による 適用箇所 ・図示による（ ） 種類SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7. 2. 3による ・改修標準仕様書 8. 2. 1 0 (1) (2)による ・図示による	8 溶接材料 [8. 2. 10]	種類 建築用ターンバックル用 ※割切式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ※構造図による 工法の種類 ・合成スラブ（適用箇所 ・構造図による ・） ・床型枠用（適用箇所 ・構造図による ・） 材質、形状及び寸法 ・構造図による ・ 鉄骨部材への溶接方法 ・構造図による ・ 耐火認定 ・有り（耐火時間 ・図示による ・） ・なし ※図付スタッド（J I S B 11 9 8） 径（呼び名） 長さ（呼び長さ） mm 使用箇所 1 6 φ ・8 0 ・1 0 0 ・1 2 0 1 9 φ ・8 0 ・1 0 0 ・1 3 0 ・1 5 0 2 2 φ ・8 0 ・1 0 0 ・1 3 0 ・1 5 0	9 ターンバックル (7. 2. 6)	デッキプレート (7. 2. 7)	11 スタッド [8. 2. 11]	12 柱底均しモルタル [8. 2. 12]	13 製作精度 [8. 13. 3]	14 仮組 [8. 13. 10]	15 高力ボルト接合 [8. 14. 2]	16 溶接接合 [8. 15. 4] [8. 15. 7]	17 入熱、バス間温度の溶 接条件	18 溶接部の試験 [8. 15. 12]	19 耐火被覆 [8. 18. 2～5]	種類及び性能 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高耐熱ロックウール ・ ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 適用箇所 (部位・部分) ・3 0 分耐火 ・1 時間耐火 ・2 時間耐火 ・3 時間耐火	20 建方精度 (7. 10. 2)	21 アンカーボルトの保持 及び埋込み工法 (7. 2. 4) (7. 10. 3)	※（一社）日本建築学会「J A S S 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」 付表5「工事現場」による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法 表7. 1 0. 1 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 表7. 1 0. 2 ※標準仕様書 表7. 10. 2 (※A種【モルタル厚さ5 0】 B種【モルタル厚さ3 0】)による 塗装の範囲 [7. 4. 3] [8. 17. 2～4] ・耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ※構造図による ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8. 17. 1 (1) (ア)～(イ)による部分以外 ・構造図による 塗装種別 下記以外の鉄鋼面は、7 章「塗装改修工事」による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料 ※A s 種 ・耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料 種類等 表8. 2 0. 1 垂れ滴りつき種別 材料 適用箇所 A種 (HDZT77) 最小板厚 6. 0mm 以上の形鋼、鋼板 ※図示による B種 (HDZT63) 最小板厚 3. 2mm 以上、6. 0mm 未満の形鋼、鋼板 ・ C種 (HDZT49) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1. 6mm 以上、3. 2mm 未満の形鋼、鋼板	8 ― 4 あと施工アン カー工 事	1 あと施工アンカー [8. 2. 4]	引張耐力 ・せん断耐力 ・ ・金属系アンカー 本体 セット方式 種類 径 (mm)
---	--------------------	---	---------------------	---	-------------------	--	---------------------	--	-------------------------	-----------------	---	--	---	--	--------------------------------------	---	---------------------------------	---	------------------------------	--	---------------------------	------------------------------------	---	--	-------------------------	---	---	--------------------------------------	--------------	-------------------	---	---	---	--	--	-------------------------	--	---	----------------------	---	------------------------	----------------------	-----------------------	---------------------------	-----------------------	----------------------	--------------------------	----------------------------------	----------------------	--------------------------	-------------------------	---	-----------------------	--	---	-----------------------------------	-------------------------	---

		<div>地下処理 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 地下処理の範囲 ※図示 地下処理の程度 ※図示 柱及び梁の隅角部の面取り 大きさ ※図示 地下調整 ※行う ひび割れ部改修 ・行う ・行わない 種類及び部位 ※図示 引張強度試験 ・行う ・行わない 試験数量 ※JIS A 1191（コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法）による 付着強度試験 ・行う ・行わない 試験数量 ※JIS A 6909（建築用仕塗材）による 補強工事後の仕上げ ※構造図による ・</div>		<div>・石綿含有仕塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ・ ※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・制塵剤併用手工具ケレン工法 ・制塵剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・制塵剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・制塵剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法 ・ 除去対象範囲 ・図示 作業場所の隔離 ※行わない ・行う 試験施工 ※行わない ・行う 除去した石綿含有仕塗材の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による ・ ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(8)及び(7)による 確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(8)及び(7)による 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・</div>	<div>7 ロールスクリーン (20.2.15) 8 カーテン及びカーテンレール (20.2.16) 9 点検口 10 天井見切り縁等 11 視覚障害者用床タイル（視覚障害者誘導用ブロック） (11.2.2) (19.2.2) 12 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 13 建設発生土の処理 (3.2.5) 14 砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 15 捨コンクリート地業 (4.6.4) 16 床下防湿層 (4.6.5) 17 排水管 (21.2.1) 18 側溝、排水枒等 (21.2.2) 19 路床 (22.2.2～5)</div>	<div>操作方式 ・スプリング式 ・コード式（チェーン式） ・電動式 材質 ・図示による ・ 遮光性能 ・図示による ・ 寸法及び取付箇所 ・図示による ・ カーテン(6) 取付箇所 生地の種類、品質、特殊加工等 ひだの種類 形式 開閉操作 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 形状 ※角形 形状 形状 ・10～60 ※762～914及び762～914合金の押し出し成型材 ・ ※762 ・ ・暗幕用は300mm以上の引き合せの重掛けとする 天井 材質 アルミニウム製 寸法（mm） ※450×450 ・600×600 形式 一般型 外枠 ・縦縁タイプ ・目地タイプ 内枠 ・縦縁タイプ ・目地タイプ 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 外枠、内枠の材質 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAC-1種、AC-2種（外枠はBB-1種、BB-2種） 外枠及び内枠のコーナーベース、吊り金物、取付ボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの 材質 アルミニウム製 寸法（mm） ※50×450 ※600×600 形式 ※壁内用一般型・密閉形 バックンを装着しないもの及びがたつき防止用バックンを装着したもの 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 受枠材、蓋枠材、コーナーベース、底板材、底板補強材 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種 開閉方式 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 その他 製造所の仕様による 壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材質 ・アルミニウム既製品 ・ビニル既製品 材質 ・レジンコンクリート製（厚さ60mm） ・セラミックタイル製 ・ 表面形状 JIS T9251による 寸法 ※300×300 色 ※黄色 ・ 種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 （※3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土 D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ※構外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に埋積 材料 ※再生クラッシュラン(6) ・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 厚さ 使用範囲 ※60 ・ ・図示による ・ コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※18N/mm² ・ N/mm² スランプ ※15cm ・18cm 厚さ及び使用範囲 厚さ 使用範囲 ※50 ・ ・図示による ・ 施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 防湿層の位置 ※図示による ・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種B形 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・RS-VU(6) 建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること ・鉄製ふた 型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重〔kN〕） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ 鍵 ・有 ・無 ・グレーチング 種類 形式 用途 適用荷重 メインバーピッチ 上面形状 ・鋼製 ・受枠付 ・溝ふた（横断用） ・歩行用 ・普通目 ・細目 ※凹凸形 ・ボルト 固定 ・溝ふた（側溝用） ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・ ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 ・ステンレス製 ・受枠付 ・溝ふた（横断用） ・歩行用 ・普通目 ・細目 ・凹凸形 ・ボルト 固定 ・溝ふた（側溝用） ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・平形 ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 路床の構成 ※標準詳細図による ・ 盛土に用いる材料（表3.2.1）による ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 支持力比（CBR）試験 ※行わない ・行う（※乱した土 ・乱さない土） 締め固めの試験 ※行わない ・行う 現場CBR試験 ※行わない ・行う</div>	<div>20 路盤 (22.3.2～5) 21 アスファルト舗装 (22.4.2～6) 22 植栽地の確認 (23.1.3) 23 植栽基盤の整備 (23.2.2～4) 24 支柱材 (23.3.2) 25 新植樹木の枯補償 (23.3.4) 26 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)</div>	<div>路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による 路盤材料 ※再生材クラッシュラン(6) ・クラッシュラン鉄筋スラグ 締め固め試験 ※行わない ・行う 舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト ※再生アスファルト(6) ・ストレートアスファルト 骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(6) 加熱アスファルト混合物等の種類 ※表層 ※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13） ・ ・基層 ・粗粒度アスファルト混合物（20） シールコート ※行わない ・行う アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う 土壌の水素イオン濃度（pH）試験 ・行う ※行わない 電気伝導度（EC）の試験 ・行う ※行わない 排水 ・設置する（・暗きよ ・閉きよ ・排水層 ・縦穴排水） ・設置しない 電気伝導度（EC）の試験 ・行う ※行わない 整備工法 ※23.2.2 樹木 ・行う（※A種 ・B種 ・C種 ・D種） ※行わない 芝及び地被類 ※行う（※B種 ・ ） ・行わない 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土 ※丸太（間伐材） ・真竹 枯補償の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形骸不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする 枯損処置の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする</div>
8 耐震スリット新設工事	1 耐震スリット的方式、幅及び深さ [8.2.5.2] 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 [8.12.4] [8.2.5.2] 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 [8.2.5.2]	<div>・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に重出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による</div>	2 断熱・防露改修工事材 [9.3.2～4]	<div>断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用するものとする 断熱材のペルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・断熱材(6)の打込み工法 種類 厚さ（mm） 施工箇所 ビーズ法 ・25 ・ ポリスチレンフォーム断熱材 ・押出法 ・2種bA ・25 ・ ポリスチレンフォーム断熱材 ・3種bA ・25 ・ ・土間下 （スキ層なし） ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・25 ・ ・フェノールフォーム断熱材 ・25 ・ 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ（mm） ・25 ・30 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床板下等、部分的に後張り ・図示</div>	1 フリーアクセスフロア (20.2.2) 2 トイレブース (20.2.5) 3 手すり (20.2.6) 4 階段滑止め (20.2.7) 5 表示 (20.2.11) 6 ブラインド (20.2.14)	<div>① エントランス及びその他の工事 施工箇所 ・ 構造 置敷式 支柱調整式 耐震性能 ・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G 所定荷重 ・3000N ・5000N ・3000N ・5000N パネル寸法（mm） ・ 高さ（mm） ・ 床表面仕上げ材の材質 ・タイルカーペット(6) ・タイルカーペット(6) ・帯電防止床タイル(6) ・帯電防止床タイル(6) ボーダー部及びスロープ ※製造所の仕様 ・図示による ※製造所の仕様 ・図示による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (4)による 表面仕上材の品質・性能は、改修標準仕様書6章 内装改修工事による 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※製造所の仕様による ・20～30% 配線取り出し開口 ※製造所の仕様による ・パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 空調用吹き出し（吸い込み）パネル 耐荷重性能 変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ローリングロード性能 所定荷重1,000N（5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意）による繰り返し試験後、 残留変形3.0mm以下 表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 幅木材質形状 ※ステンレス幅木 ・ 材質 表面仕上げ 直径（mm） 取付箇所 ・集成材 ・CL ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製 材質 ステンレス製（SUS304）（埋込工法 ※接着工法） 端部フラットエンド ※有（※タイヤと同材 ・ステンレス鋼） ・無 型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り 幅（mm） ※約35 ・ ・案内板 ・施設案内板（※標準詳細図による ・図示による） ・各階案内板（※標準詳細図による ・図示による） ・視覚障害者用案内板（※図示による） ※標準詳細図による ・市販品 標準案内図用記号 ※JIS Z8210による ・図示による 形状・その他 ※図示による ※標準詳細図による ・切抜文字（・ステンレス製・黄銅製） ・箱文字（・ステンレス製・黄銅製） 字数（ ） 文字の大きさ（ x ） ・対人衝突防止表示 ・図示による ・非常用進入口 ・図示による 案内図用記号はJIS Z8210による 形式 ・横型ブラインド ・縦型ブラインド スラットの材質 アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット 種類 ※ギア式 ・1本操作コード式 ・コード式 ※2本操作コード式 ・操作棒式 スラットの幅（mm） ※25 ・35 ・80 ・100 ボックス・レールの材質 ※鋼製 ・ アルミニウム合金製 幅・高さ・取付箇所 ※図示 ・ ※図示 ・</div>	<div>工事名 岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事 図面名 建築改修工事特記仕様書6 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 課長 課長補佐 係長 係員 担当者 承認 検図 製図 No. A-06 令和8年5月</div>	



【凡 例】

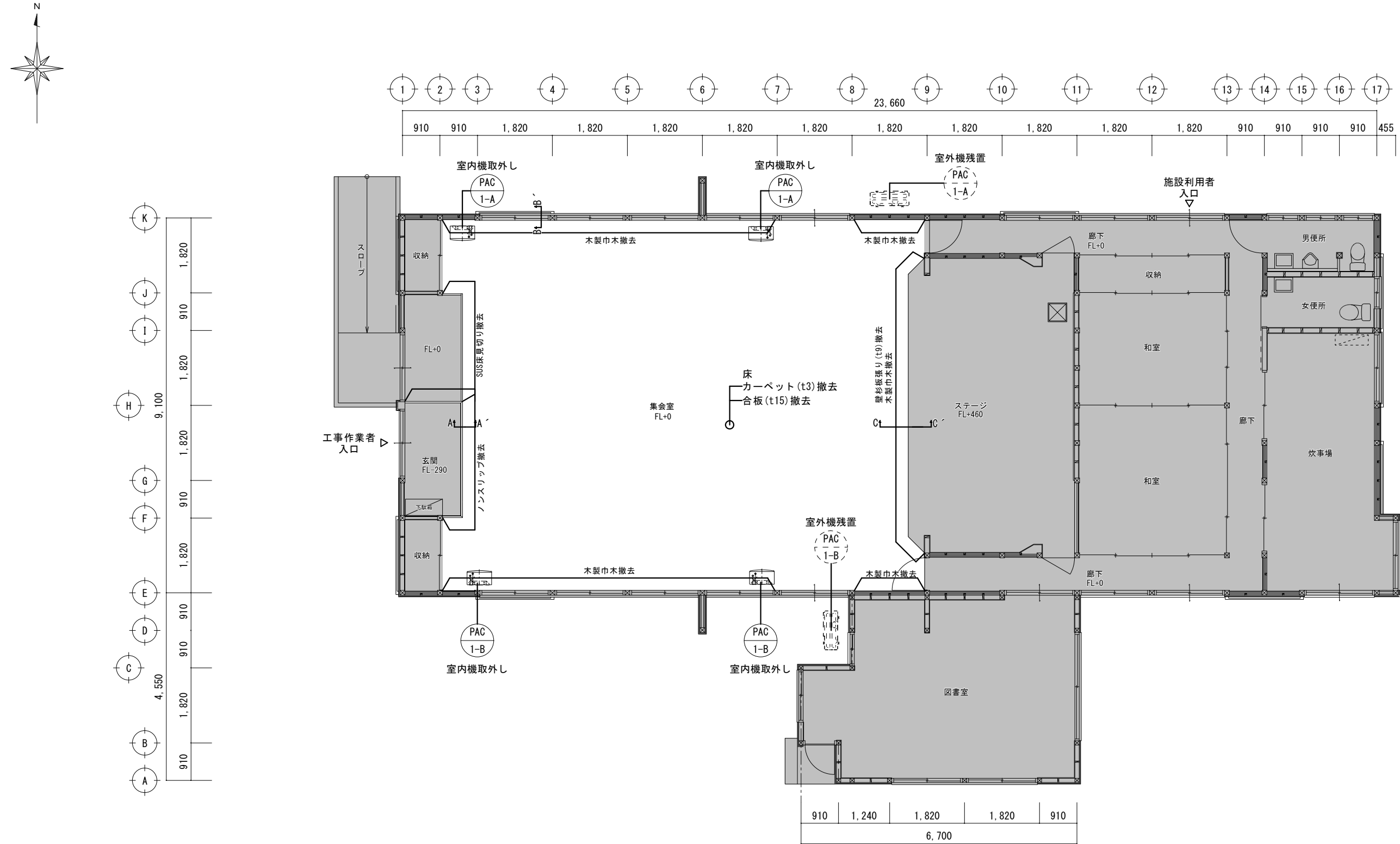
- ・・・工事対象建物を示す。
- ・・・建物出入口を示す。
- ・・・コーン・バーを示す。
- ・・・工事作業者の動線を示す。
- ・・・施設利用者の動線を示す。

配置図兼仮設計画図（参考） S=1/200

【特記事項】

- ・仮設計画図は参考であるため、監督員及び施設関係者と協議のうえ、決定すること。
- ・工事中も施設は使用しており、施工手順についても協議のうえ、決定すること。
- ・工事車両駐車場については、監督員及び施設関係者と協議のうえ、決定すること。

工事名		岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事				No.	
図面名		配置図兼仮設計画図（参考）		縮尺	1/200		
		岡山市都市整備局住宅・建築部		令和8年5月		A-07	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員		



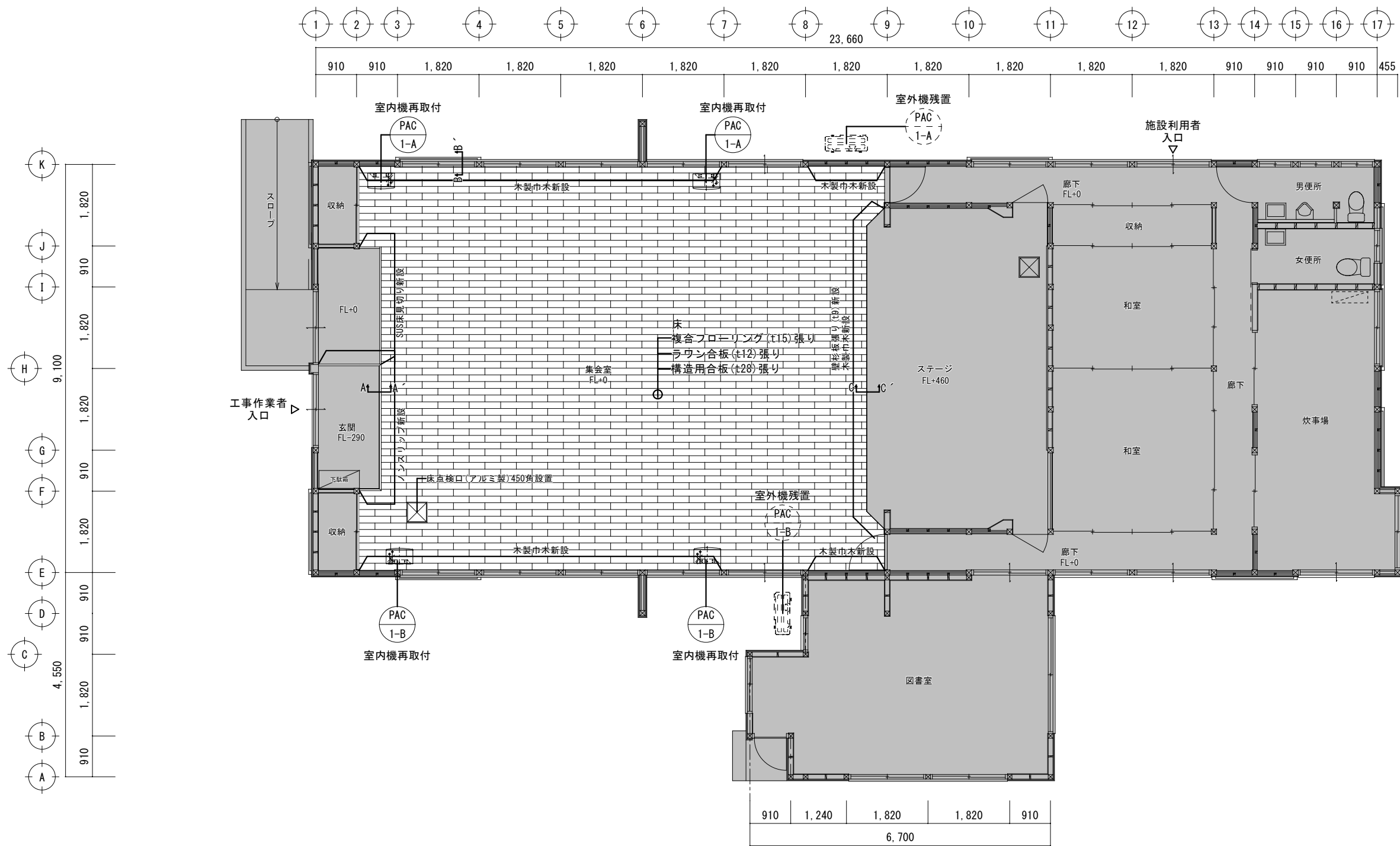
改修範囲対象外を示す。

改修前平面図 S=1/100

既設空調設備 機器表

機器番号	名称	仕様	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源・電動機出力				運転電流		台数	備考
					φ-V	圧縮機 (kW)	室内ファン (W)	室外ファン (W)	冷房時 (A)	暖房時 (A)		
PAC-1-A	パッケージ形空調機	床置形 ツインマルチ 冷媒：R410A(5.9kg)	20.0	22.4	3-200	4.61	152	292×2	22.7	21.4	1	冷媒ポンプダウン
		室内機寸法(1台当たり)：600×350×1850 質量：47kg										室内機取外し
		室外機寸法：940×350×1430 質量：128kg										型式：SZZV224CLD
PAC-1-B	パッケージ形空調機	床置形 ツインマルチ 冷媒：R410A(5.9kg)	20.0	22.4	3-200	4.61	152	292×2	22.7	21.4	1	冷媒ポンプダウン
		室内機寸法(1台当たり)：600×350×1850 質量：47kg										室内機取外し
		室外機寸法：940×350×1430 質量：128kg										型式：SZZV224CYD

工事名		岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事				No.	
図面名		改修前平面図		縮尺	1/100		A-08
岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月			
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員		設計担当



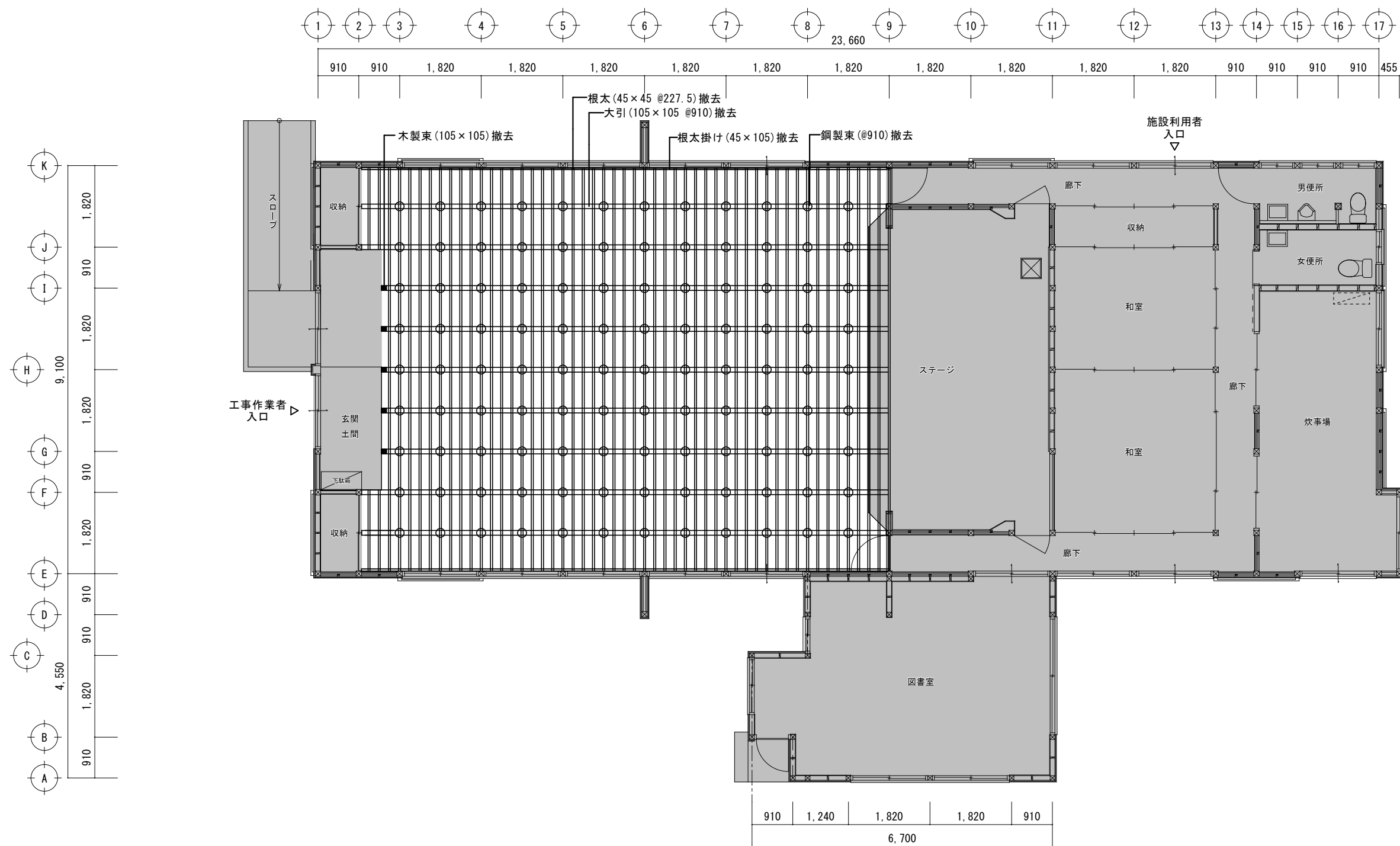
改修範囲対象外を示す。

改修後平面図 S=1/100

既設空調設備 機器表

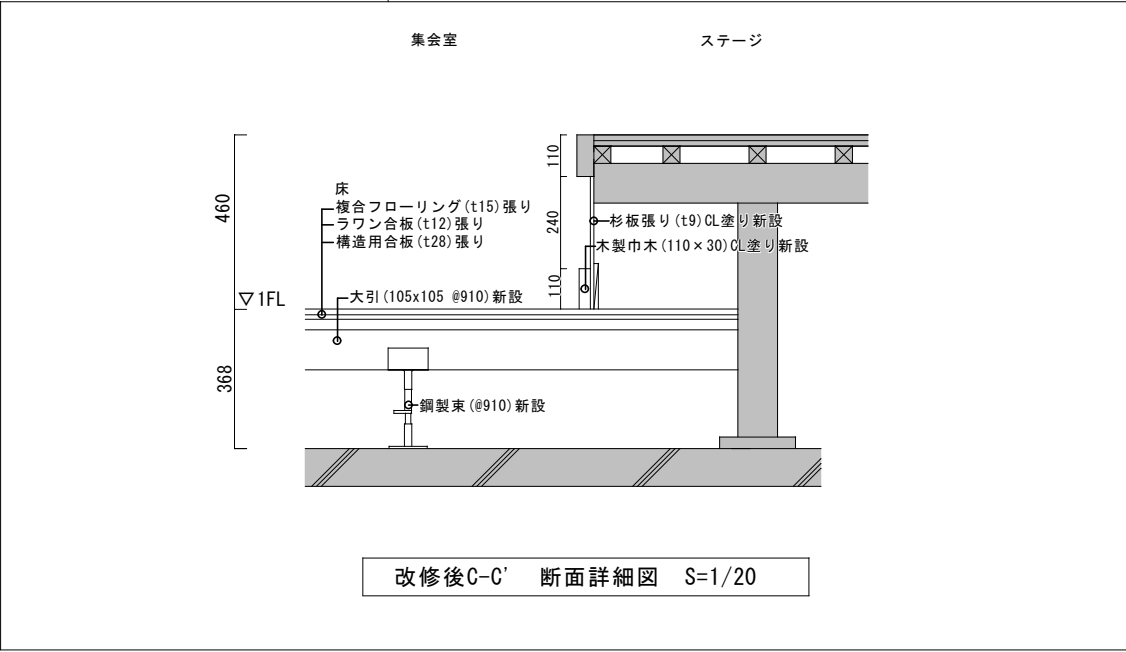
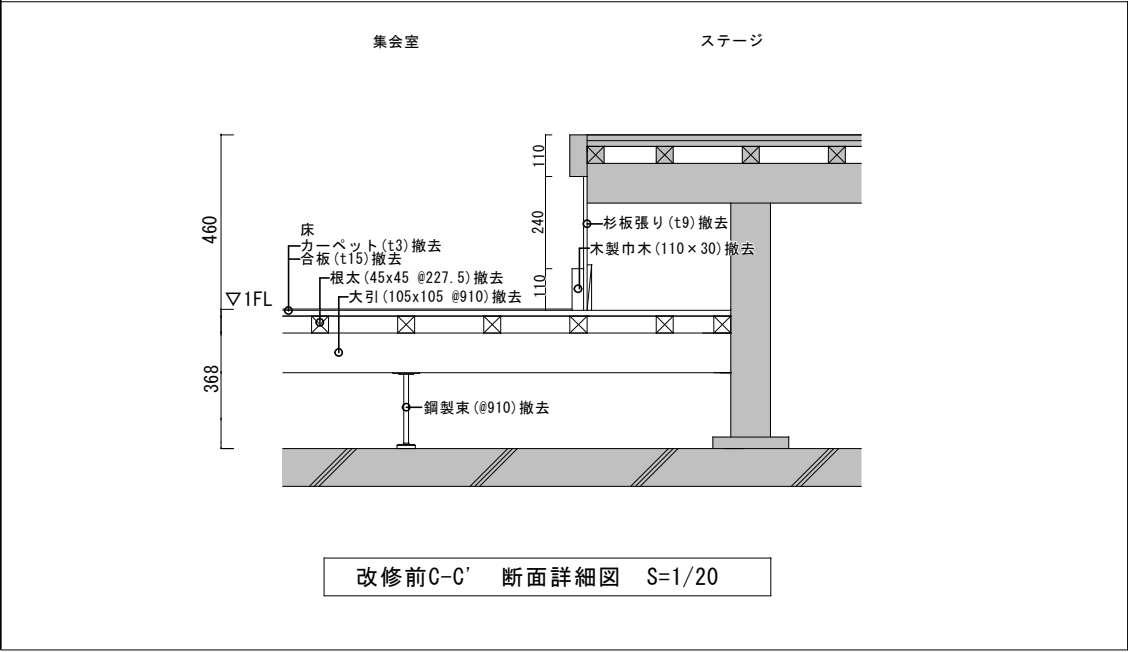
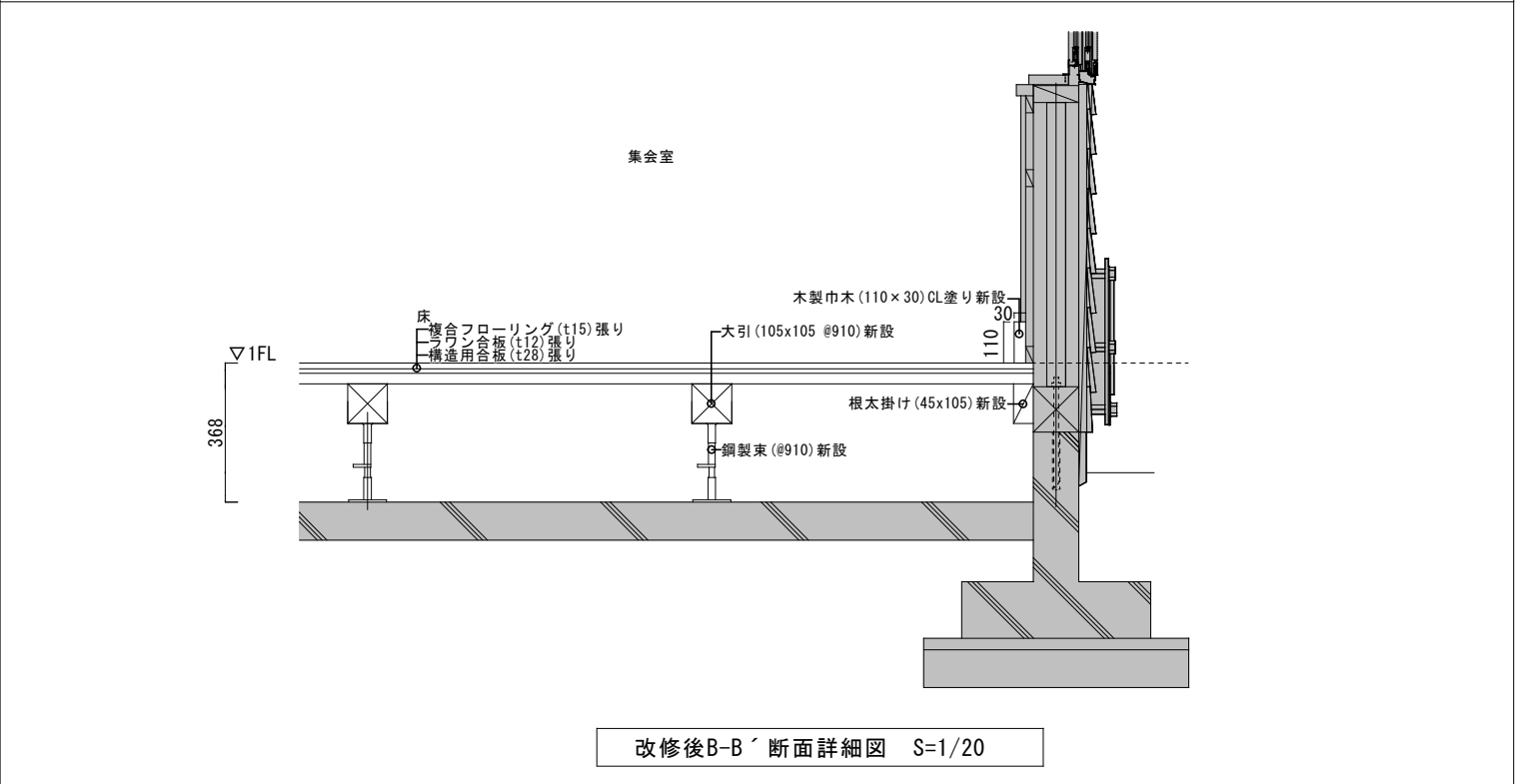
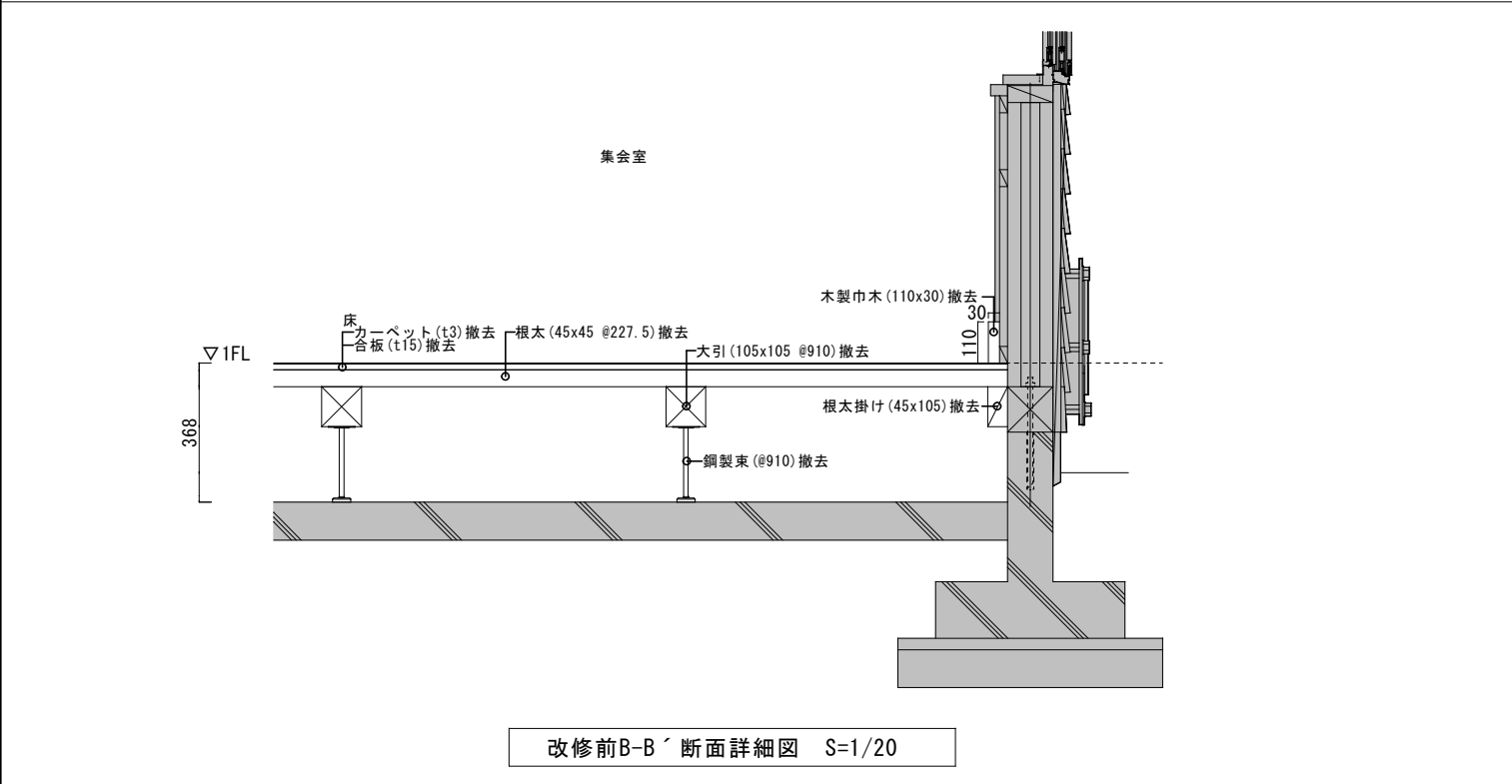
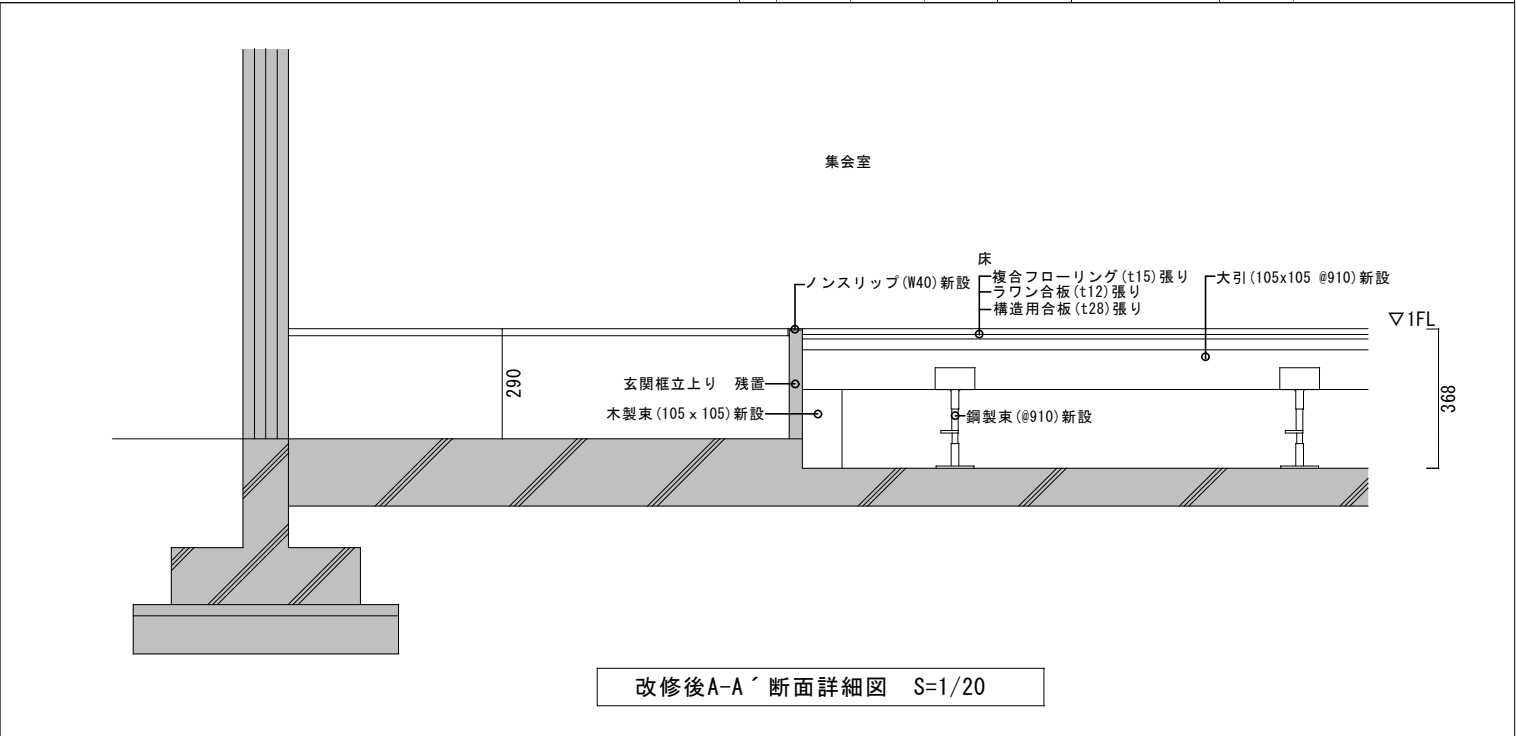
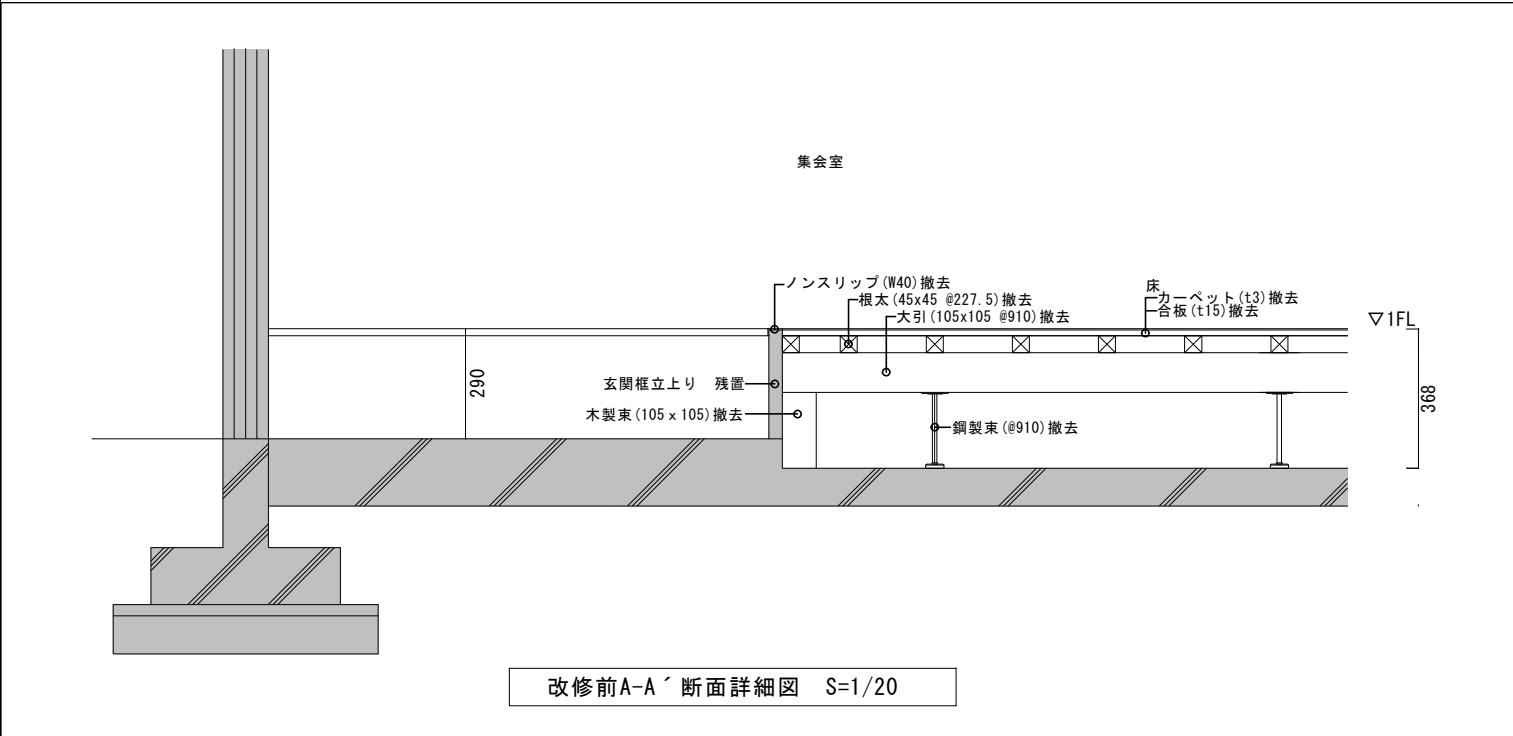
機器番号	名称	仕様	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源・電動機出力				運転電流		台数	備考
					φ-V	圧縮機 (kW)	室内ファン (W)	室外ファン (W)	冷房時 (A)	暖房時 (A)		
PAC-1-A	パッケージ形空調機	床置形 ツインマルチ 冷媒：R410A(5.9kg)	20.0	22.4	3-200	4.61	152	292×2	22.7	21.4	1	冷媒再充填
		室内機寸法(1台当たり)：600×350×1850 質量：47kg										室内機再取付
		室外機寸法：940×350×1430 質量：128kg										型式：SZZV224CLD
PAC-1-B	パッケージ形空調機	床置形 ツインマルチ 冷媒：R410A(5.9kg)	20.0	22.4	3-200	4.61	152	292×2	22.7	21.4	1	冷媒再充填
		室内機寸法(1台当たり)：600×350×1850 質量：47kg										室内機再取付
		室外機寸法：940×350×1430 質量：128kg										型式：SZZV224CYD

工事名		岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事				No.	
図面名		改修後平面図		縮尺	1/100		A-09
岡山市都市整備局住宅・建築部				令和8年5月			
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員		設計担当



改修前床伏図 S=1/100

工事名	岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事					No. A-10
図面名	改修前床伏図			縮尺	1/100	
岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月	
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員	設計担当



							<div></div> 改修範囲対象外を示す。		
工事名		岡山市立北公民館牟佐分館集会室床改修工事					No. A-12		
図面名		改修断面詳細図			縮尺	1/20			
岡山市都市整備局住宅・建築部					令和8年5月				
公共建築課	課長	主幹	課長補佐	係長	課員				設計担当